

優
賞

赤いかたつむりの正体は？

～レッドラムズホーンの生たいについて～

ましさ町立
いいの小学校
3年
し水 れいじ

1. 調べてみようと思ったわけ

知り合いの人にこの赤いかたつむりの上の貝をもらって、グビと一緒にしゃべりながら、どんどんえてきたので、どうしてこんなにふえるのだろう？この赤いかたつむりのような貝はなんだろう？と、ふしごに思って調べてみようと思った。

2. 調べたこと

①赤いかたつむりの上の貝の名前や生活のしかた。②2週間でどれくらい大きくなるのか。

④どうやく大きくなるのか。⑤2週間でどれくらいふえるのかたまごが生まれるまでの様子。

⑥大きさのレッドラムズホーンの水そうの大きさはどれくらい落ちるのか。⑦生きたメダカを食べるのか、いつにかかるのか。

3. 調べる方ほう

⑦調べやすいように水そうにたくさんいた、レッドラムズホーンを1ひき(3.5mm)、2ひき(1cmと1cm5mm)、4ひき(1cmから2ひきと1cm5mmが2ひき)に分けた。知り合いの人にこの赤いかたつむりのような貝についての話を聞いた。

①1ひきの水そうの貝を2週間毎じょうごでからと体の大きさを測った。

②2ひきと4ひきの水そうで2週間ごとに大きさと、たまごがあるか、たまごが生まれるまでを記録した。

③よごれた水をうその中に10ひきくらい入れて時間かたつごとにしゃんをと、くらべた。

⑦メダカとレッドラムズホーンを同じ水そうに入れて、かんさつした。

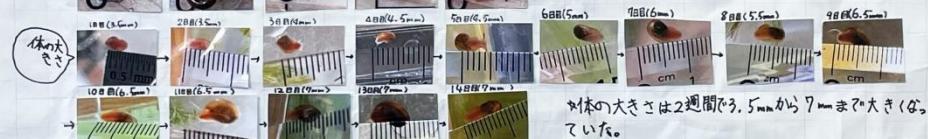
4. 予そうとけっか

⑦予そう→まき貝の仲間もとかを食べている？

けっか赤いかたつむりのような貝の名前はレッドラムズホーン。インドヒラマキカブトムシを品種化して赤くなった貝。エサは、とけかかったかれはや水草や水そうに付いたコケ、魚の死骸などを食べる。歯がしっかりして、やすりだけでも食べられる。また、同じ貝殻といつオストメスカブトムシでも食べられるだけではなく、よく食べることができる。こうでは、2ヶ月近くついてからの中に体をいれていた。すすみ方は、口を動かして水流をねじらせるか、全体をなみうつように動かしてすすんでいた。

⑦予そう→だひをして少し大きくなっている。

けっか



⑦目次3.5mmから大きくなっているかも、ぬけがらだつからなかつたからぼくは、かたつむりとゆうところからが大きくなるかかなと思った。なのでもジックペンあらにしるしつけて、からかわひるのが言葉でみた。

⑦どうやって大きくなるのか。



⑦予そう→気づかないうちにふえこんだためごじゃなくて、そのままのが生まれるのか。

けっか→レッドラムズホーンを4ひきと2ひきに分け2日でそれそれの水そう2ひきがくつづいていた。4日目には4ひきの水そうの殻にくつづいていたたまごを見た。たまごの色はどうらいで、1つのかたまりで8~10粒くらい集まっていた。

5日目4ひきの水そうには5つがくつづいていた。多いときは2ひきの水そうでは8日に4ひきの水そうでは、9日目6ひきの水そうには5つがくつづいていた。よく2ひきがくつづいていたのを見た。



⑦予そう→1日で大きいになるとと思った。

けっか



⑦予そう→生きたメダカを食べると思った。

けっか→生きたメダカがくつづいていた。死んでしまったメダカを食べていた。→

5. まとめ

- レッドラムズホーンは2週間でから大きさが、3.5mmから9mmになった。2ひきの水そうでは、1cmと1.5cmのレッドラムズホーンからたまごをうんでいたのをばかかんさつした。4ひきの水そうのレッドラムズホーンもたまごをうむようになる。レッドラムズホーンのせい長は早いと思った。

- 2週間で2ひきの水そうではあちやんかく2ひき、4ひきの水そうでは49ひきにふえたのははんしょく力が強く思った。

- はんしょく力が強いし、なんでも食べるのでもし田んぼや川にかしまつたら、りょうにえきて、お米を食べてしまおもしれど。

- ぼくの家には、水そうがたくさんあるから、ふえたレッドラムズホーンがくつづいていて、それをうつしてもらおうと思う。

- レッドラムズホーンはかたつむりでいるところもあったけど、かたつむりではなくて、まき貝の仲間だった。

- 自分のたまごを食べないのか、何年生きるのかをもっと調べてみようと思った。

さくこうにしたホームページ→インターネットアリウムライアリ